

先駆的な木造工法の取り組み

交流センターでは、低コスト化、施設の長寿命化、環境負荷の低減など先駆性のある木造建築とするため、多目的ホールや情報コーナーBにスケルトンウッドシステム工法を採用し、多目的ホールの屋根を木造トラス構造にしました。

スケルトンウッドシステム工法



【スケルトンウッドパネル施行部分】

スケルトンウッドシステムとは、柱を使用せず、木材を集成して加工したパネルを内壁・外壁に使用する工法であり、次のようなメリットがあります。

- 木材の断熱性、調湿性といった機能を発揮できることから、冷暖房費を節約することや室内結露を防ぐことが期待できます。
- 内壁・外壁用の他の部材が不要となり、パネルを工場一括生産できることから、工事の低コスト化が期待できます。

木造トラス構造

トラス構造とは、三角形を組み合わせた構造であり、多目的ホールの屋根組を木造トラス構造にしています。

このような構造体は、通常、屋根によって見えなくする場合がありますが、木材が冬期間の積雪に十分耐えられるという「強さ」を知ってもらうため、あえてホール内にあらわにして皆さんにお見せしています。



【多目的ホール屋根組】